在籍数
（2021年2月1日現在）

1年	男	73名	
	女	85名	（計158名）
2年	男	80名	
	女	79名	（計159名）
3年	男	63名	
	女	95名	（計158名）
合計	男	216名	
	女	259名	
	合計	475名	

まつら

発行所
唐津市町田字大山田1992番地
TEL 0955-72-7184
佐賀県立唐津西高等学校振興会
発行人　砂田　哲也
編集人　振興会広報部会

「人間力」「共感力」

佐賀県立唐津西高等学校　校長　**吉　山　耕一郎**

日増しに明るさを増す朝夕の日差しに、新しい春の訪れを感じる季節となりました。

蛍雪の功なり、本日めでたく卒業される百五十七名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この三年間は、皆さんのこれまでの人生の中で、最も変化に富み、成長を実感した期間であったことと思います。西高での皆さんのやる気と頑張りに敬意を表しますとともに、それを温かく見守り、今まで一心に支えてこられた保護者の皆様のお喜びは如何ばかりかと、心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、平成三十年四月八日の入学式時に「何よりも、自分と相手の「命と気持ち」を大切にするという姿勢を忘れずにいてください。実生活の中では、常に、「相手の目で見、相手の耳で聞き、相手の心で感じる」という気持ちを持ちながら、思いやりの心を忘れずに、生活してくれることを切望します。」という言葉で時貞充尚校長先生より入学を許可されました。

一年次は、佐賀県で明治維新から百五十年目の節目の年である平成三十年に佐賀県の偉人や偉業を成し遂げた先人の「志」を今に活かし未来につないでいくため、「肥前さが幕末維新博」を開催されました。唐津市は、肥前鍋島藩ではなく唐津藩支配下でしたが、幕末から明治への歴史の道筋が佐賀と唐津で異なり、対照的な明治維新を迎えたことや幕末の唐津藩主小笠原長行、建築家の辰野金吾、総理大臣・大蔵大臣の高橋是清などが注目を浴びて、唐津の歴史の奥深さを実感したことと同時に唐津の誇りをもつことができたと思います。

二年次五月に、平成から「厳しい寒さのあと、美しく咲き誇る梅の花のような希望に満ち溢れた時代」（万葉集から出典）という意味の令和に年号が変わり、新しい時代を感じました。八月に、「創造の羽を広げ、蒼天へ舞　バルーンの如く」の大会テーマのもと、第四十三回全国高等学校総合文化祭（２０１９さが総文）が唐津市を含めて、佐賀県内各地で開催されました。本校の生徒も文化部に所属する生徒を中心に実行委員として活躍してくれました。また、十一月にふるさと唐津に対して誇りを持つためにご当地検定「唐津検定」を受検しました。普段の授業で学ばない唐津の歴史・文化・自然の魅力を再認識することができました。

そして令和二年の三年次は、夏には２０２０東京オリンピックがあり、本校ヨット部卒業生の岡田奎樹選手や南里研二選手の活躍にも期待するとともに、数々の感動の名勝負がたくさん観ることができ、華やかな一年が始まるとみんな思っていたと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症による二度の臨時休業によるオンライン授業や県総合体育大会の中止から代替大会ＳＳＰ杯の開催、双松祭の短縮、そして大学入試の制度設計の変更などすべてこの一年は新型コロナウイルス感染症で終わったと言っても過言ではありません。でもこの感染症で「学校や先生、友人、家族との日常へ」の「期待と感謝」を感じたと思います。まさにＡＩの時代に「人間らしさ」「人間力」「人間性」の大切さを知ることができたと思います。

このような三年間、卒業生は、実用英語検定準一級合格をはじめとする学習は勿論、制約が多い中、部活動や学校祭において多くの素晴らしい成果を挙げてくれました。何より、進学や就職という人生の節目「十八歳」である進路決定に際しては、最後まで諦めることなく、厳しい試験に耐え抜いて、挑戦してくれました。

こうした皆さんの姿は、部活動や学校祭での力強いリーダーシップとともに、西高「まつら」の伝統の中に、新たな一頁として書き加えられ、後輩たちが地元に貢献できる志を持って、しっかりと受け継いでくれるものと信じています。

卒業生だけではなくあなた方は、Society5.0（超スマート社会）の実現に向けて技術革新、新型コロナウイルス感染症の戦いののなかに生きていきます。「人生一〇〇年時代」を豊かに生きていくために夢や希望を持ち、その実現のために取り組むたには、「双松の力」の中で、特に社会で生きていくための力「人間力」や積極的に他者や社会と繋がろうとする力「共感力」が必要です。この「人間力」「共感力」は不安や悩みが差別を生む感染を断ち切り、社会的弱者へ「優しさ」や「思いやり」もつ行動と考え方を育てます。まさに本校の三つの教育指針「師弟同行（共育）」「朝に希望夕べに感謝」「明るい挨拶　気持ちの良い挨拶」と「双松の力」の実践が生き抜くための必要です。

卒業される皆さんの前途が、朝、今日も頑張るぞという気持ちで希望を持ち、「明るい挨拶　気持ちの良い挨拶」で始まり、「師弟同行」の気持ちで学び、働き合い、夕べにすべての人に感謝する充実した生活が希望に溢れた輝かしいものとなりますよう祈念しています。

有尾　悠さん（3年）
実用英語技能検定準1級合格

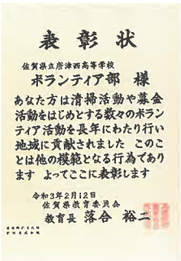
本校３年生の 有尾　悠さん（３年）が唐津西高校の現役生として初めて実用英語技能検定試験準１級に合格されました。合格がわかった時は、高校入学時から準1級取得を目標としていたので、やり遂げたという気持ちだったそうです。

大学進学後は１級を取得し、資格を武器に国際関係の仕事に就きたいと抱負を語ってくれました。

唐津西高校ボランティア部
令和２年度第41回善行児童生徒表彰（県教育長表彰）

本校ボランティア部が長年の実績と昨今の活発な活動が認められ、善行児童生徒表彰を受賞されました。ボランティア部は昭和三十一年にＪＲＣ同好会として活動を開始し、昭和四十四年にＪＲＣ部となりました。本年で部としての活動五十年を迎えました。また、唐津市内の高校で唯一、唐津ロータリークラブに加入しています。歳末助け合い募金や、国際交流、唐津ロータリークラブの協力による定例会や英例会、年次大会、前期・後期ボランティア指導者講習会など多くの行事に参加しています。

また、校内においても校舎内の消毒や、災害募金活動、コンタクトレンズの空の回収など行っています。


表彰状
佐賀県立唐津西高等学校
ボランティア部　様
あなた方は清掃活動や募金活動をはじめとする数々のボランティア活動を長年にわたり行い地域に貢献されました　このことは他の模範となる行為であります　よってここに表彰します
令和3年2月12日
佐賀県教育委員会
教育長　落合　裕二

今回、このような大変すばらしい賞を本校ボランティア部が頂きましたことは、生徒たちにとりまして大変大きな励みとなります。校長先生をはじめ、唐津ロータリークラブ様、これまでのボランティア部の生徒の皆さんに感謝申し上げます。

これからも、多くの活動を積極的に行っていきたいと思っています。

唐津西高校ボランティア部
顧問　佐藤　篤子

贈ることば

唐津西高等学校振興会会長
砂　田　哲　也

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんが、３年間唐津西高校の教育精神「師弟同行」のもと、学習や部活動など学校生活を通じて一人ひとりが素晴らしい成長を遂げてきたことを、保護者の一人として大変嬉しく思っています。今年度は新型コロナウイルスの影響で学校行事が縮小、中止される中、皆さんの成長を双松祭で目にすることができました。規模を縮小しての開催、２区制への変更などこれまでとは違う環境でしたが、「千変万化」～新たな挑戦～をテーマに力強いリーダーシップで一致団結し、見事なパフォーマンスに感動を覚えました。

これからの人生で皆さんに心に留めてほしいことは、活躍の陰には多くの方の支えがあったことです。互いに励まし合い共に困難を乗り越えてきた仲間は勿論のこと、時に温かく、時に厳しく、皆さんを支え見守ってくださった先生方や家族、地域の方々のおかげで、これまでの成長があります。その方々への感謝の気持ちを忘れずにいてください。これからはそれぞれの夢と目標に向かって一歩を踏み出していくこととなりますが、仲間と協力することや共に感動、涙する素晴らしさなど、この学校で学んだ精神を忘れず、未来に大きく羽ばたいてほしいと心から願っています。皆さんの今後の活躍を期待しています。

最後に校長先生はじめ、先生方、そして保護者の皆様には、振興会活動に多大なご協力を賜り本当にありがとうございました。今年度は新型コロナウイルスの影響で不安もありましたが、無事に１年間の振興会の運営ができたのも、皆様のご協力のおかげです。今後ともご理解、ご協力お願いいたします。